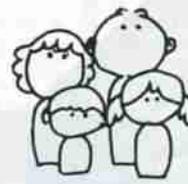


# のほろべつ

## 市の人口



6月末現在

総人口	53,306 (42増)
男	26,545 (17増)
女	26,761 (25増)
世帯数	16,032 (26増)

( ) 内は前月との比較増減



## “初夏の1日 登山でひと汗”

7月17日、山岳協会主催の室蘭岳からカムイヌプリ岳を縦走する市民登山が行なわれました。

この日、午前中は風ひとつない蒸し暑い天気のため、玉の汗を流しての山登りでしたが、午後からのあいにくの濃霧に、予定を変更、室蘭岳山頂を折り返してのコースとなりました。

参加者は、13歳から65歳までの28人、それぞれ体力に応じてマイペースで登山を開始、1人の脱落者もなく、深緑につつまれた、初夏の一日を楽しみました。

最年少参加の近藤由紀子さん(西陵中1年)に今回の感想をお聞きしました。

「私1人では、ちょっと不安だったので、お父さんと一緒に来ました。登る時、足がもつれちゃってころびそうになったり、お父さんに引っ張ってもらったりしましたが、掃りは楽でした。

もう少し晴れてくれるともっと良かったのに……。お昼は、オニギリそしておやつもたくさん持って来ました。おなか为空いたので、とてもおいしかった。また機会があったら別の山にも登ってみたいと思います。」



頂上までもうひと息

8 1977  
.1



# 将来展望など聞く

## 富岸住民、市長と対話

富岸地区の開発と、いまかかえている地域の身近な問題について、市の考え方を聞くという地域住民が去る七月十三日午後六時から約二時間半にわたり、老人憩の家「栄楽園」で市長との対話集会を開きました。

この集会は、富岸地区連合町内会（工藤角藏会長、三千人）の主催で開かれたものですが、この連合町内会は、今年五月に結成されたばかりで、街づくりに対する関心は高く、会場には町内会役員、住民ら約八十人が参加しました。

市側からは、田村市長をはじめ各部長十二人が出席しました。

まず、①富岸地区の開発の将来展望②富岸地区に公営住宅建設の見通し③富岸地区に中学校の建設予定はあるかなど、あわせて連合町内会側から出されていた二十四項目の要望、質問事項に対し、田村市長は、卒直にわかり易く答弁しました。

さらに、各部長からも細部にわたる具体策など、説明があり、引き続き、午後八時四十分まで、質疑応答が細かく交わされました。この「対話」の中から主なものを取り上げ、市の考え方をお知らせします。

### 富岸地区開発の将来展望

若山町、青葉町は、広域的見地から文教、体育、医療、交通施設の拠点として推進し、富岸町、若山町には、低密度の住宅街を設定し、あわせて国鉄新駅の設置、商業地域の設定を検討している。

また、自然環境に恵まれた、富岸川、山林を活用した自然公園を設け、さらに福祉施設も導入したレクリエーションの場としていきたい。

現在、富岸以西の中学校としては、鷺別中学校がありますが、規模は本年五月現在、二十二学級で八七九人で、市内では最大規模となっています。

富岸川沿い奥地まで都市開発を進めなければならないが、公営住宅建設は、全体計画の中で配置を検討し、登別市のモデル地域として将来計画を建てたい。

富岸地区に中学校の建設予定はあるか

鷺別中学校は敷地条件等から、



要望、質問に答弁する田村市長

### 第3回市民まつり

# 9

## 10前夜祭

## 11本祭り

### 市民おどり講習会日程

- 温泉公民館 8月3日(水)、8月22日
  - 登別公民館 8月5日(金)、8月29日(月)
  - 中央公民館 8月8日(木)、8月29日(月)
  - 梶別生活館 8月9日(火)、8月25日(木)
  - 富浦漁業会館 8月24日(水)、8月25日(木)
  - 鷺別公民館 8月19日(金)、8月20日(土)
  - 上鷺別ひまわり園 8月5日(金)、8月22日(月)
  - 富浜児童館 8月10日(木)、8月23日(火)
- 各地区とも午後七時から八時までとなっておりますので、この時間に最寄りの会場で受講してください。プログラムは次号で掲載いたします。

### 夏のしおり

#### 野菜と果物

八月は野菜好きの人にとってまさに天国です。インゲン、エダマメ、キウリ、ジャガイモ、ナス、トマト、カボチャ、新シウガ、シロウリ、タマネギなど、ビニールハウス栽培でない露地物が、豊富に安く出回りま

出回るので、サラダや野菜のためにバリバリと食べたいものです。

動物性タンパク質を多く摂るようになった最近では、食生活上のバランスをとる意味からトマトやカボチャ、インゲンなどの有色野菜をたくさん食べなければなりません。それがまた夏バテを防ぐことへとつながっていくといわれます。果物ではスイカ、ブドウ、リンゴ、ナシ、ブドウといったところでしょいか。よく冷えたスイカの大切りは真夏ならではの味覚です。

新鮮が第一の野菜がたくさん

真夏ならではの味覚です。

二十五学級程度までは収容できず、学校運営上、十八学級規模程度が理想であり、若草、新生、富岸地区の今後の発展を予想した場合、近い将来には富岸地区に中学校を新設することになると思われ

るよう、さらに強力に関係機関に働きかけた。

バス路線を(千代の台)亀田公園入口(富岸小学校)総合体育館前(梶別地区)延長してほしい。

道々上登別室蘭線沿いには、総合体育館があり、昭和五十三、五十四年度には、中央病院、道立高校の開設と上鷺別東部地区の区画整理事業が完成するので、これから公共施設利用者のためにも、足の確保を図ることが必要です。

道々の二車線化と舗装の早期完成を道に要請するとともに、バス会社とも折衝を進めています。

### 健康メモ

#### 夏かぜにご用心

かぜといえは冬という季節が連想されますが、暑い夏にもかぜがないわけではありませ

夏かぜの症状の特徴は、のどの痛みが強く、のどの粘膜が赤くはれて、咽喉炎の型をとるかぜが比較的多く、冬にみられる、鼻かぜの型が少ないといえます。

治療は対症療法しかない原因である、ウイルスに対する特效薬はまだありません。

治療で熱が下がり、痛みが軽くなっても、安静を守りむりをしないことです。

これは、対症療法にすぎなく、根本的にウイルスを抑えているわけではないことに注意してください。

▼予防は寒冷えに注意する

夏かぜの予防もあまり積極的な方法はなく、病原のウイルスが侵入しても、それに負けないだけの体力をいつも保っておく程度の対策しかありません。

また、寒冷えについては、寒冷えそのものが夏かぜの原因になるのではなく、寒冷えによって全身的な抵抗力や呼吸器の抵抗力が低下して、かぜのウイルスの感染を起しやすくなります。

日頃の健康管理に注意して快適な夏をお過ごしください。

日頃の健康管理に注意して快適な夏をお過ごしください。

# 心のふれあいを求めて

福祉のあらましとこれを支える人たち

市では、市政の基本政策として、「生活環境の整備」「福祉の拡充強化」「教育施設の整備」の二つの柱を重点に施策を推進しています。

ことしの街づくりを支える昭和52年度当初予算の中で、市民福祉のポイントとなる民生費が一般会計総予算の16・3%を占め十四億八百九十六万七千円が振り向けられています。

この中には、いろいろな福祉施策が折りこまれていますが、「児童」、「老人」、「身障者」等の対策、「ボランティア活動」等を中心に、今回は、これを支える人達を写真で紹介しながらまとめてみました。

社会福祉協議会の「愛の一声運動」は、近隣の人達へ、おもいやりの輪が広がっています。



## 明るく健やかに育て

### 登別の児童たち

共働き家庭や、母親の病氣や出産などで、家庭で保育ができない子供たちのために、保育所を設けていますが、現在、市内の市立保育所の数は、今年四月に開所した、登別温泉保育所を加え八カ所、〇歳～五歳まで五七〇人の児童を収容しています。

また、田村市長は、任期内に、「公立幼稚園を四地区に」建設を公約、二年前から実現に向けて各地に建設をしていますが、将来は「一校一園構想、すなわち小学校の通学区ごと」に、幼稚園一カ所の建設をめざしています。

共働き家庭や、母親の病氣や出産などで、家庭で保育ができない子供たちの健康を願うのは、両親誰もが願っています。そして万一場合の医療費の助成制度は暮しの大きな支えになってくれます。

市では、三歳未満児の医療費の完全無料化、母子家庭児童や重度心身障害者のための助成制度、さらに児童手当・災害遺児手当の支

## お年寄りの住みよい街づくり

共働き家庭や、母親の病氣や出産などで、家庭で保育ができない子供たちの健康を願うのは、両親誰もが願っています。そして万一場合の医療費の助成制度は暮しの大きな支えになってくれます。

市では、三歳未満児の医療費の完全無料化、母子家庭児童や重度心身障害者のための助成制度、さらに児童手当・災害遺児手当の支

いま登別市に住む六十五歳以上の方は二千七百人。登別市の人口の五・三割がお年寄りです。

市では、七十歳以上の方、又は、身体に障害のある六十五歳以上の方のため医療費完全無料化をはかると共に、六十五歳以上の方に敬老年金を年一回、敬老の日を前後しての支給、老人世帯で日常生活に不便を感じている方の身の回りのお世話を、家庭奉仕員（ホームヘルパー）制度を実施するほか、お年寄りを対象とした老人健康診査特殊寝台の貸与をおこなっています。

共働き家庭や、母親の病氣や出産などで、家庭で保育ができない子供たちの健康を願うのは、両親誰もが願っています。そして万一場合の医療費の助成制度は暮しの大きな支えになってくれます。

市では、三歳未満児の医療費の完全無料化、母子家庭児童や重度心身障害者のための助成制度、さらに児童手当・災害遺児手当の支

また、お年寄りにとって、もっとも大切な問題「生きがい対策」にも積極的に取り組んでいます。お年寄りの教養やレクリエーションの場として、老人憩の家を市内二十七カ所に建設、今年にはさらに三カ所建設します。

こうして、お年寄りの施設づくりを進める一方、老人クラブの助

給もおこなっています。こうした助成制度の一方、子供たちの病氣に対する予防対策や健康管理にも力を注いできています。

乳児検診や三歳児検診、虫歯によって起る病氣から子供を守り、虫歯のない心身共に健康な子供に育ってもらおうと二歳児歯科検診四歳児歯みがき指導をこまめに実施しています。

また、今年から「育児一〇番」を備え、若いママの育児不安の解消に当たっています。

このほか離乳食講習会、母親学級や健康相談の定期的な開催など、子供たちが健やかに育ってもらおうという願いをこめたいいろいろな施策が進められています。

喜ばれる食事を…老人ホーム恵寿園はいつも真剣勝負



老人は、肉身と共に家庭の中で暮すのが一番いいことですが、事情があるとか、又は本人の希望で老後の生活を明るく安心して過ごせる施設として養護老人ホーム恵寿園がありますが、今年から「生きがい対策事業」がスタート。一部は八月頃完成するみこみです。この事業によって花文字花壇や、実のなる植樹のほか、パンダウサギの牧場、ペットゴルフ場、メロディー水車などが完成すると全国でもめずらしい老人施設として、大きな注目を集めています。



ろうあ者と社会を結ぶきずなの強化に一役と、広がる手話通訳の輪。ボランティアグループ「手話の会」は、精力的な活動を続けています



のぞみ園では、1日も早い機能回復へと、秋元訓練士（登別厚生年金病院）の指導で、懸命な訓練が続けられています



ホームヘルパーは現在八名、体の不自由な人や独居老人の手の届かない身のお世話を始め、話し相手になるなど、精神的な支えとしても活躍しています



老人農園で、元気いっぱいのお年寄りのみなさん

# 身体の不自由な人に 愛の心を

体の不自由な人たちの自立更生のお手伝いにも、大きなウエイトを置いて施策を進めています。各種相談窓口の開設をはじめ、福祉手当の支給、補装具の給付、また、浴用湯沸し器や盲人用テープレコーダー、カナタイプなど、ハンディを背負う人たちに手助けをするため、生活用具の購入費の助成など、細かな配慮をおこなっています。

昨年度から実施された、重度心身障害児介護手当を、今年からはさらに、対象児童の年齢を満十五歳から満十八歳に引き上げるとともに、手当額を五千円から一万円に引き上げ制度の充実をはかりました。

また、体の不自由な子供たちには、機能回復訓練の機会や施設づくりにも力を注いできました。肢体不自由児通園施設「のぞみ園」では、体の不自由な子供たちが懸命に機能回復訓練をおこなっています。

このような市の施策に呼応してボランティアサークル「手話の会」や赤十字日赤奉仕団などでも積極的な活動を続けており、市民のバックアップによる福祉充実の輪がしたいに広がってきています。

## 恵まれない家庭に 細かな心づかいを

昭和五十年十月一日から実施された弔慰金の贈呈は、不幸にも死亡された市民に対し、全市民あけて弔意をあらわそうというもので、市ではこれまで（七月十五日現在）大人四一三人、子供十五人の遺族の方に弔慰金をお贈りしました。

これらの諸対策が実を結ぶためには、市民みんながお互いの立場を理解し、みとめ合うという思いやりの気持がもっとも大切なことです。

さらに今年からは、生活に恵まれない家庭の不幸に対しては、その遺族を助まし、勇気づけるため、弔慰金と共に葬祭費の扶助をあわせておこなうことにしました。

いかに福祉の制度が完備されても、周囲の善意と隣人愛にもとづく相互扶助の精神がなければ、本當の福祉社会とはいえないのでないでしょうか。

今後はさらに、公的葬祭場設置などについても検討していく方針です。

登別市民すべてに今もとめられているものは、ボランティアの心とそれを育てる活動ではないでしょうか……。



中央町市街で歩行訓練に励む中川さんご夫婦

登別で初めての盲導犬2頭が、七月十四日から中川さんご夫婦(中央町4丁目1番地1)によって飼われることになりました。  
ご主人の犬が、ケグルーフ(雌)奥さんの犬が、フジ(雄)という名前です。いずれも二歳半の兄妹の盲導犬です。  
札幌盲導犬協会が一月の調教訓練をうけ、二人の命令に忠実に従うようになりましたが、盲導犬を自由にコントロールするようになるまでには、一年間はかかると言われていいます。  
これから、市内の散歩や買い物などで出かけることとなりますが、信号などで判断に迷っていることがあります。声をかけてあげると、車を運転される方をはじめ、みなさんの温かいご声援、ご協力をお願いします。

登別初の盲導犬に  
温かいご声援を

絶対手を出さないでください。  
身を滅ぼす覚せい剤  
見たら、聞いたら 110番

最近、覚せい剤が急激に出回ってきました。麻薬と同じに危険なものです。

- 覚せい剤は身を滅ぼす 中毒者となり、親や妻子を殺傷するようになります。
- 覚せい剤は家庭悲劇のもと…注射1回1万円(1グラム=30万円)…経済破たん、倒産、離婚
- 暴力団と手が切れなくなる…密売ルートは、すべて暴力団の支配下です。
- 法律では…覚せい剤を持っていたり、もらったり、他人にやったりすることなどが禁止され、重く罰せられることになっています。



川や漁港を清潔に

美しい環境は自分たちの手で—7月17日、登別連合町内会の住民600人が参加して、登別川・漁港のゴミ駆除作戦を展開。昨年に引き続き、自主的美化運動を実施しました。

大富通士り橋 納涼歩行者天国  
車の通行をシャットアウトした路上には、子供たちがスベリ台・ブランコ・竹馬やらくがき遊びを伸び伸びと楽しんでいます。この催しは、8月7日までの金～日曜午後1時から6時半まで、う回路は室信幌別支店十字路～相生橋～河村酒店横となっています。



まちの話題

きびきびと消防総合訓練大会



登別市消防団が  
総合優勝

グラウンドで胆振管内8市町村の消防団員が参加して消防技術を競いあいました。

大雨・台風  
災害の予防

危険な場所には日ごろからの注意を  
気象に気をつけ、被害を最少限に



＝食中毒の予防＝

- 手指や調理器具は清潔に
- なまものは冷蔵保存を
- 調理したものは早めにたべる
- ハエなどの害虫は定期的に駆除を



### 道楽一家 工藤恒美



### 室工大の公開講座

「情報社会と文化」  
「電子計算機入門」

室蘭工業大学では、市民の日常生活に役立ててもらうため、一般成人の方を対象に、「情報社会と文化」「電子計算機入門」と題して、次のとおり講座を開きます。あなたも参加してみませんか。

「手をつなぐ親の会」  
にご加入ください。

精神薄弱者(児)の福祉をはかるために、登別市手をつなぐ親の会(会長菊地秀男)では、会員及び特別会員を募っています。

会の主な事業は、特殊教育の振興、社会の調査啓発、諸研修大会参加、親子レクリエーション、卒業生援助会と雇用主との懇談などです。

加入希望、または福祉に理解をくださる方は、次により申込みください。

▽年会費 年間三千元、特別会費一千元(希望口数)  
▽申込み先 幌別中学校 仲川教諭、市福祉事務所保護課保護係

## VOLLEY BALL



# ワールドカップ'77

▷11月23日 PM1時  
▷総合体育館

○「情報社会と文化」●日時八月二十二日～九月二日(計十回)午後六～九時●定員六十名●受講料千五百円●申込み期日八月十三日まで

○「電子計算機入門」●日時九月十二日～九月二十二日(九月十五日～十八日を除く計七回)午後六時～九時●定員三十名●受講料千円●申込み期日九月三日日まで

※二つの講座とも申込み先は、室蘭工業大学教務課(室蘭市水元町27番1号)電話での受付はしません。

### 映画会に おいでください

登別市民生委員協議会(会長日野謙一)では、小・中・高校生を対象にした映画会を開催します。

この催しは、児童の健全育成の一環として行われ、映画観賞と児童委員をかこみ感想と意見交換などを行います。

児童・生徒多数の参加をお待ちしています。

▼驚別公民館8月7日(日)午後2時から▼ひまわり園8月14日(日)午後2時から▼永和園(幌別老人憩の家)午後2時から

※詳しいことは、市福祉事務所保護課(電話5局2111)内線343へお問合せください。

## 文芸

松岡 信  
菅原ハルエ  
木村錦之助  
島山 キワ  
柴山 秀雄  
丸山 テル  
渡辺 晋作  
中島 ヨシ

うぐいすに誘はれ敷に入りけり  
走る児のみな孫に見ゆ運動会  
鶯を近くに今朝の目覚めかな  
車中よりはるか色とぶつじかな  
種蒔くやたゆたふ蝶の二つ三つ  
春疾風でんでにすくむ首とくび  
鶯の音色エンジン止みしより  
あるなしの風にも弾む花の種

## 文化短信

加納愛山氏  
北海道川柳連盟賞受賞

北海道在住川柳人の昨年1年間の作品を対象とした、昭和51年度の北海道川柳年度賞選考の決果、登別市文化協会川柳部長(登別川柳社主幹)加納愛山氏が、年度賞に次ぐ川柳連盟賞を受賞、6月26日、留萌市で開催された北海道川柳大会の席上で表彰されました。

受賞対象になったのは、いづれも川柳「のほりべつ」誌に発表された次の作品です。

○野仏のあたりで風がまるくなる  
○ジャンケンポンあいこで善人はかり負け  
○完敗の靴が口笛吹いてくる  
○あしあとを迎れば父の汗に触れ  
○子の夢へ父の童話を足してやる

### 昭和52年度 北海道職員採用初級試験

●各支庁総務課  
なお、郵便で請求する場合は、封筒の表に「初級試験申込書請求」と朱書き、あて先を明記して50円切手をはった返信用封筒を必ず同封してください。

●申込み用紙請求先へお問合わせください。

●申込期間 八月二十二日～九月三日

●受検資格 昭和三十一年四月二日から昭和三十五年四月一日までに生まれた方(学歴を問いません)

●申込み用紙請求先 北海道人事委員会 事務局(札幌市中央区北三条西六丁目 道庁庁舎十二階)

### 自治論文募集

財団法人自治総合センターでは、地方自治三十周年を記念して論文を募集しています。

テーマは、「あすの地方自治」で、地方自治問題に興味をおもちの方、あるいは関心のある方ふってご応募ください。

☆原稿 二千字詰原稿用紙60枚以内

☆締切 九月三十日

☆発表 十一月中旬本人に通知します(入選者のみ)

☆入選 一席(一編)三十万円  
二席(二編)十五万円  
三席(三編)七万円 佳作(三編)三万円

☆送り先 東京都港区芝西久保舟町一番地 〒110 財団法人 自治総合センター

### 北方地域元居住者の 動態調査にご協力を

道が昭和五十年から毎年行っている、北方地域元居住者動態調査を今年も継続して実施します。

この調査は、みなさん方の世帯構成などの変動事項を調査し、住民台帳を補完して、元居住者の方々の現状を把握し、援護対策及び領土復帰対策の資料とします。

近く該当者に、調査票が送付されますので、趣旨をご理解のうえ調査票に記入し、ご返送くださるようご協力をお願いします。

詳細については、北海道総務部領土復帰北方漁業対策本部(札幌市中央区北三西六)へ問い合わせください。

まずゆずれ  
人は車に 車は人に

昨年の12月に開かれた、公民館講座正月料理教室に参加した人達の中から、これからは非続けていきたいという声が出て、クッキングサークルが誕生。現在は、月2回教室が開かれています。

日本料理・中華料理・お菓子和形式にとられない、口に合う自己流の味付けも楽しみのひとつです。約30人の主婦がメンバーとなっていますが、大変人気があって、先生から「夏休みに入ると忙しくなるから、一時休

### 家族的ふんいき クッキングサークル



にしては」といわれましたが、全員反対で続けていただきました。

私は今まで、お裁縫、お花は習ったのですが、お料理の方は機会がなくて……。お料理に自信がないのに加えて肉きらいのため、肉料理は敬遠していましたが、試食でとてもおいしく食べれるようになりましたし、主人や子供にも喜ばれるようになりました。今ではちょっと鼻高なんです。

千歳町1-9-2・古井丸紀子・主婦

## 健康相談

- 実施日・場所 ●8月4・18日  
…中央公民館 ●8月8日…鷺別公民館 ●8月22日…登別公民館
- 受付時間 ●午前の部…10時～10時30分 ●午後の部…13時～13時30分
- 内容 ●午前…成人病相談、妊婦相談、家族計画相談、幼児相談(1歳以上) ●午後…赤ちゃん相談(6カ月・9カ月児)その他相談のある乳児(1歳未満) ※午後の部の終了時間は3時頃になる予定です。

## 不用品ダイヤル市

5局2111内線216

ゆずってください(買い)  
シングルベッド、うば車、電気オルガン、三味線、石油風呂釜、木うすときね

おわけします(売り)  
ライトイングデスク、コンピラック、ベビークラ、アマチュア無線養生講座カセットテープ、松本享英会話シリーズ、あんま機、温風式石油ストーブ、ホームタンク(249円)

ご寄贈ありがとうございます  
ございます

- 〈社会福祉協議会(愛情銀行)〉へ
- 現金寄贈 山名建設様 ●物品寄贈 笠原トキ様、片倉町内会婦人部様、三浦トリエ様、和泉健次郎様 ●古切手寄贈、国立登別病院患者一同様、幌別中学校様、老人クラブ鷺老会様、成田嗣代様
  - 〈恵寿園〉へ
  - 物品寄贈 小室正光様、不老会様、佐藤しげる様、佐藤まさを様、佐々木マサエ様

### 中小企業振興資金

北海道が行なっている、中小企業振興資金融資制度の設備改善資金が本年度から次のようになり変わりました。

本資金を申込みされる方は、早めにご連絡ください。

●資金名 設備改善資金 ●融資対象 同一市町村に引続き一年以上事業を営んでいる方 ●融資条件 ●資金使途 設備資金 ●融資金額 三千万円(観光五千万円) ●融資期間 五年以内(観光十年以内) ●融資利率 年七・九割 ●申込み

### 電波障害防止の 圖案を募集しています

ビルなどの高層建築物によって起るテレビ、ラジオの電波障害や市民ラジオ(トランシーバーなど)やアマチュア無線の違法な使用とか自動車、オートバイ、家庭用電気器具などによって起るテレビ・ラジオの電波障害を防止するこ

とをねらいとした、テレビ放送用カラー圖案を募集します。

応募方法は次のとおりです。

▼紙は厚めの画用紙で紙の大きさは原則として、たて27センチ、よこ38センチとし、圖案の大きさは、たて23センチ、よこ30センチです。▼文章は簡潔なことばで字の大きさは一字一平方センチ以上。▼応募資格 中学校生徒。▼作品ごとにその右側余白に都道府県名、学校名、学年、男女別、氏名を書いて、学校ごとにまとめて

送ってください。▼締切 9月3日

▼あて先 室蘭市幸町九番四号(〒051)北海道電力室蘭支店内 北海道電波障害防止協議会 室蘭支部

墓地使用者は届出を  
してください

市では現在、墓地管理の徹底をはかるため、台帳整備を進めています。

墓地を所有している方は、各支所及び市保健衛生課にそなえつけの届出書を提出してください。ご協力をお願いします。(昭和四十三年以降富浦造成墓地で、使用許可を受けたものは除きます)

## 離乳食講習会

栄養士による離乳食講習会(実習指導)を実施します。対象児をお持ちの方は、受講ください。

- 実施日時 8月22日午前10時～12時 ●場所 中央公民館 ●対象 3～6カ月児の母親 ●定員 30名 ●申込み期限 8月20日まで(定員になり次第締切ります) ●申込み先 市保健衛生課(電話5局2111内線244) ※当日子供はつれてこないでください。 ※母子健康手帳を持参ください。

## 赤ちゃん検診

- 内容 診察、計測、栄養指導、生活指導
- 用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル ※終了時間は午後3時頃の前です。
- 〈日程〉8月30日=鷺別公民館/受付12時～12時30分/対象鷺別地区の昭和52年5月出生児 8月31日=中央公民館/受付12時～12時30分/対象中央地区の昭和52年5月出生児 ※登別・登別温泉地区は9月に実施します(5月・6月生)

## 股関節脱臼検査

対象児…生後3ヵ月以上1年未満の乳児、実施月日…9月1日、実施場所…中央公民館、実施時間…午前の部10時30分～11時、午後の部13時～14時、受付定員…午前25名、午後25名、受診料金…670円、用意するもの…母子健康手帳、換えオムツ、申込み先…市保健衛生課(電話②2111内線244) ※申込み受付は定員になり次第締切らせていただきます。

## 家庭児童・母子相談

- 相談日 8月18日(定例=毎月第3木曜日)
- 場所 中央公民館和室 ●受付 午後1時～3時30分 ●相談内容 子供のしつけ、知能のおくれ、非行相談、視聴覚障害、言語障害、心身障害、児童施設入所、母と子のなやみ、その他相談 ※相談希望者は、事前に福祉事務所保健課にご連絡ください。(電話5局2111内線334)



### タバコは市内で買ひましよう

タバコ1箱(20本入り)について、約17円が市の収入になるのをご存知でしょうか。あなたのくゆらタバコの煙の中から、学校が、住宅が生まれています。市外にお出かけの時はぜひ登別市内のタバコ屋さんでお買い求めください。

## お気軽にご相談 ください

市民相談所(市役所1階)  
電話 5-2111内線315へ

